



まちひと百景

お花でいっぱい、フラワースマイル

5月26日（土）苫前地区の郷土資料館周辺や、古丹別地区の町道西2条線などで花壇の整備や花植えを行った。

小さな子どもからお年寄りの方まで異世代交流と環境美化をねらいに毎年実施されている。マリーゴールドや百日草など、まちの景色が少しずつ変わっていく様であった。

- 職業を知るガイダンス開催ほか…2
- 公民館図書室に行こうほか…3
- 平和の鐘慰霊法要ほか…4
- 自衛隊募集相談員委嘱状交付式ほか…5
- 健康ばんざい…6
- 地域包括ケアだより…7
- 介護保険ガイド…8
- 国民年金…9
- 学びの広場…10
- 住まいる情報…11～12
- 議会だよりNo.111…13～29
- 入学ギャラリー…30

苫前町
議会だより
合併号

まちの人口

人口/3,142人 (男/1,491人：女/1,651人)
世帯数/1,545世帯 (5月31日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

職業を知るガイダンス開催 ～苫前商業高等学校～



5月8日(火) 苫前商業高等学校(佐藤雅人校長)で職業を知るガイダンスが開催され、全生徒29名が参加した。

進路意識を向上させることを目的に毎年開催されており、この日は道内専門学校10校の担当者が、資格や仕事内容について生徒たちに説明をした。

説明会に参加した生徒は「視野が広がる。高校生活の学習が大事だ」と今後の進路を前向きに考えていた。

専門学校側からは「高校生活を有意義に過ごし、資格を少しでも取って社会に役立ててほしい」とのことだった。

説明会後には実技訓練も行われた。

無災害へ、誓いを新たに ～苫前建設協会安全大会～



5月8日(火) 公民館で苫前建設協会(奥山和彦会長)の第25回安全大会が同協会加盟事業所から来賓を含め約1000名が参加し開催された。

奥山会長は「経営の最重要課題は、労働安全衛生マネジメントにある。各職場において、交通ルールの遵守・徹底をお願いし交通安全意識の向上に努めてもらいたい」とあいさつした。

森利男町長らの祝辞の後、「交通事故防止について」と題した羽幌警察署の唯野真史地域交通課長の講話により交通安全の徹底について改めて確認した。

電話でエール交換 ～5/30チャレンジデー～



5月16日(水) 町長室において、チャレンジデー対戦相手の秋田県大潟村(おおがたむら)の高橋浩人村長に、森町長が電話でエール交換し、健闘を誓い合った。

秋田県は、スポーツ立県を宣言し、県内25自治体がチャレンジデーに参加、学力テストでも全国トップレベルだという。

森町長は「手強いなど感じている」との第一声に対し、高橋村長は「ちょうど農業の繁忙期で、意欲的に作業をして申請を出してもらおうと呼びかける」と応じるなどヤル気を感じられた。

運命の対戦は、5月30日(水)に行われた。

第58回苫前町商工会通常総会を開催



5月18日(金) とうまえ温泉ふわっとで第58回苫前町商工会通常総会が委任状も含め97名の会員が参加し、森利男町長ほかの来賓を招いて開催された。

渡部和人会長は「経営を取りまく環境が難しい中、継続的発展を支援する経営発達支援計画の認定を受けて2年が経過した。経営動向調査、事業継承アンケートなど課題も見えてきた。商店を守り、会員の事業継続が重要な課題」と挨拶した。

この後、平成30年度事業でプレミアム地域振興券の販売を行うなどを含めた議案5件すべてが可決承認された。

今年の「まちなかサロン」はじまる ～講話に誕生会など～



5月18日(金) 苫前福祉センターで今年度の「まちなかサロン」がはじまった。この日はスタッフを含め約30人が参加、半年ぶりの再会に笑顔を交わしあった。また、森町長もかけつけて親しくあいさつ、「みんな楽しく話し合っただけがよいを見つける。生活の原点に迫る事業だと思っている。行政も引き続き応援していきたい」と呼びかけた。

まちなかサロンは、今年度も毎週金曜日の午後1時～4時まで、10月の最終金曜日まで実施され、交通安全・防犯講話、町保健師、栄養士による血圧測定と栄養指導、読み聞かせやリラクセス運動などを実施する予定。

学社融合事業「公民館図書室に行こう」～古丹別小学校4年生～

5月24日（木）に古丹別小学校（石田正樹校長）の学社融合事業「公民館図書室へ行こう」が開催され、4年生12名が本の分類や貸出作業などを体験した。

はじめに基本となる日本十進分類法を学んだのち、公民館図書室ではさらに細かく分類していることが説明された。その後、2人1組になり分類を使って本を探したり、図書管理システムを使って貸出作業を行った。児童からは「教科書で習わないことを学べた。パソコンを使って貸出作業が出来て楽しかった」と話していた。



花でいっぱい、フラワースマイル事業



5月26日（土）平成30年度フラワースマイル事業が開催され、苦前・古丹別地区あわせて109名が参加、花植え作業を行った。

古丹別地区は例年どおり公民館周辺で、苦前地区は苦前花愛好会（猪股正博会長）が管理する三角点スキー場の花壇及び郷土資料館周辺の2箇所を実施した。

町コミュニティ推進協議会の斉数範章会長が「このフラワースマイル事業には、次世代交流と地域の環境美化の推進、そして花愛好会による美化運動にも町内会として協力をしている。」と挨拶、両地区あわせてマリーゴールドやジニア（百日草）など約1千本の花を植えた。

ゴミ拾いをして住みよいまちを！～子ども会育成連絡協議会クリーン作戦～

町子ども会育成連絡協議会（早川日出利会長）主催のクリーン作戦が5月26日（土）に開催、町内一斉にゴミ拾い活動が実施された。

雪解けの後に残った多くのゴミを拾って、まちをきれいにする目的で毎年開催されているもので、今年はずっと子ども会と育成者など約244名が参加した。

開会式で挨拶や注意事項などを確認した後、それぞれの子どもの区域で老人クラブ、婦人会の参加者と一緒にゴミ拾いを行った。



有事に備え、本番さながらに訓練 ～苦前町消防団総合演習～



5月27日（日）に公民館で苦前町消防団（瀬川信昭団長）の総合演習が実施された。

森利男町長、浅野貴博道議、佐藤伸治羽幌警察署長らによる服装点検、閲団、機械器具点検に続いて、古丹別分団の訓練礼式、苦前分団選抜チームによる小型ポンプ操法が披露された。

町道西2条線～道南2丁目線～道道～町道南4丁目線を分列行進したあと、萌州建設苦前支店から出火の想定で、通報から到着、消火準備、放水などの訓練を本番同様迅速に行っていた。

稲の管理と生きもの観察忘れずに～学社融合事業「田植え」～

5月30日（水）に苦前小学校（小澤真弓校長）、古丹別小学校（石田正樹校長）の校庭の水田で学社融合事業「田植え」が開催され、両校の5年生23名が昔ながらの田植えを体験した。

苦前町農業協同組合青年部長の松原尚則部長は「根がつくまではしっかりと管理してください。田んぼに入るカエルなどの生きもの観察も忘れずに」と呼びかけた。

この日は、農協青年部、普及センターなどの関係者が集まり指導。植えた苗は農協青年部らが成育を見守るが、7月には成育調査を実施、9月下旬頃には鎌を使った稲刈りが実施される。



苦前小学校

古丹別小学校

恒久平和を祈る ～平和の鐘奉賛会による慰霊法要～



5月13日(日) 古丹別緑ヶ丘公園内で平和の鐘奉賛会(伊藤通康会長)による慰霊法要が開催され、留萌管内各地より約50名の遺族が参列し執り行われた。

伊藤会長は「戦争を語る人が少なく、会員も減少しているが、恒久的な平和実現のため、今後も平和の鐘慰霊祭は続けていく」と挨拶した。

小澤哲也副町長も「戦争を知らない世代が増え、紛争や核の問題など毎日のようにニュースが流れている。恒久平和のために努めていかなければならない。今後も平和の鐘慰霊祭が継続して挙行されることを切望する」と述べた。

第55回留萌管内少年少女東西対抗剣道大会・第45回留萌管内少年少女個人選手権大会

個人選手権入賞者

小学2年以下の部
優勝 後藤 皓斗
小学3・4年生男子の部
第3位 寺林 龍駕
小学5・6年生男子の部
優勝 大矢根瑠斐
苦前町分のみ掲載

5月13日(日) 苦前中学校体育館で第55回留萌管内少年少女東西対抗剣道大会・第45回留萌管内少年少女個人選手権大会兼第3回栄花杯争奪剣道大会に、管内7市町と宗谷管内幌延、豊富両町から85人の小中学生が出場し、熱戦をくりひろげた。

また、大会の後半では小平町以南を東軍、苦前町以北を西軍として試合が行われ、通算成績29勝17敗8分で西軍が勝利した。



5月13日(日)に第47回目となる古丹別緑ヶ丘公園さくらまつりが同公園内で開催された。

この日は朝から雨が降る天候であったが、園内のさくらは見頃を迎えており、町内はもとより羽幌町、留萌市などから多数の団体や家族連れらが詰め掛けた。

さくらまつり実行委員会の渡部一男実行委員長と森町長の挨拶の後、宴はじまった。

雨の中でも花見を満喫 ～第47回古丹別緑ヶ丘公園さくらまつり～ (北海道150年事業)



窪田みゆきさんの歌謡ショーでは、オリジナル曲や民謡などを披露した。また、ご当地キャラクターの「くまだとまお」くんも会場に姿を見せ、会場内での記念写真に大忙しだった。

苦前商業高等学校書道部によるパフォーマンスでは、「緑の丘の桜花舞い」を一気に書き上げ、会場から大きな拍手がわき上がった。

カラオケ大会では大勢の方が参加し、自慢のうた声を披露、大きな拍手とともにおひねりが届く参加者もいるなど大いに盛り上がった。

販売ブースでは、商工会女性部や古丹別商業部会などがそばやたこ焼きなどを販売、買い求める人でぎわっていた。



自衛官募集相談員委嘱状交付

自衛官募集相談員の委嘱状交付式が5月22日（火）町長室で行われ、阿部俊一さん、加藤隆雄さんに山崎誠一旭川地方本部長から委嘱状が手渡された。

相談員からは、「苦前商業高等学校から入隊する生徒が増えており、学校行事などにあわせ広報啓発に取り組んでいる」ということであった。森町長は「（相談員は）重要なポジションにあると認識する。引き続きよろしくお願したい」と話し、山崎本部長は「近年、募集状況は厳しくなっている。自衛隊がいなくては、この国を支えていくことはできない」と協力を呼びかけていた。

苦前町の相談員は3人で、斉数範章さんは都合で欠席した。



苦前商業高等学校進路リレー講話 ～フォトグラファー 地島章泰さん～



苦前商業高等学校（佐藤雅人校長）進路リレー講話が5月22日（火）同校で行われ、羽幌町地島写真館の代表でフォトグラファーの地島章泰さんが、自らの経験や信条を重ね、学ぶこと、働くことの意義について語った。

地島さんは「学校も見方を変えることで楽しくなると恩師に言われ、その後は充実した学校生活を送れたと思う。仕事については、今は経験値をあげるとき、急いで決める必要はない」と語った。

生徒からは、キレイに写真を撮るコツや写真が撮るときの思いなど質問が出されていた。

地域社会貢献事業

まちの施設を整備していただきました

苦前町野球場女子トイレの修理～

～有限会社エンジニア商会～



有限会社エンジニア商会（本間正城代表取締役）が、苦前町野球場女子トイレの配管修理を4月27日（金）に地域貢献事業として実施した。

苦前町公民館周辺の清掃

～留萌地区間伐材生産加工協同組合～



留萌地区間伐材生産加工協同組合（藤野徹弥代表理事）が、苦前町公民館付近の清掃を5月12日（土）に地域貢献事業として実施した。

🔥 ファイヤー通信 🔥 山火事予防「小さな火 大きな森を破壊する」

今年も各地で山火事や野火が多発しております。また、空気が乾燥し山火事発生の危険性が高い季節となりました。これから、入山の機会も多くなり、野外での火の取り扱いには十分注意し、防火意識を高めることが最も重要です。

- ・ 枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと。
- ・ たき火等火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること
- ・ 強風時又は乾燥時には、たき火や火入れをしないこと。
- ・ 火入れを行う際は、許可を必ず受けること。
- ・ たばこは、指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消すとともに、投げ捨てしないこと。

山に入る際は火気の使用は極力避け、マナーを守って入山しましょう。



火事・救急は119番！

北留萌消防組合消防署 苦前支署 TEL 64-2321
古丹別支署 TEL 65-4119